



第8回
ものづくり日本大賞
経済産業大臣賞
人材育成支援部門

AI、高速モバイル通信、車載ネットワークなど 新しい技術に応える教育プログラムで 新世代の半導体技術者を育てる



講座は、座学に加えて機器を使った実習も行われる。

受賞者
受賞件名

公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
半導体関連分野で国内最大となるリカレント教育機関
「システム開発技術カレッジ」



受賞理由

- ▶ 01 産業ニーズを的確に取り入れて、ものづくり人材を育成
- ▶ 02 出張対応により県外の技術者育成にも貢献

受賞メッセージ

この度、荣誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。我々カレッジは、設立以来多くの技術人材を育成してきました。今後益々深刻になると予想される技術人材の不足は、企業にとって深刻な問題です。今回の受賞を機に、なお一層、企業に必要とされる技術人材の育成に励んで参ります。

変化する半導体需要に対応できる技術者の育成

半導体の需要は近年、5Gに代表される高速モバイル通信をはじめ、AIチップ、車載ネットワーク用など細分化が進行。高度な用途に特化した半導体に携わる技術者には、ハードとソフトの両面に精通した幅広い知識と技術が求められる。こうした業界のニーズを

企業内教育とは異なる実践的な教育プログラム

この教育プログラムが企業内教育と異なるのは、豊富な演習教材により実践的な講義が行われる点だ。例えば「組み込みLinux」の講座では、システムの概要を理解し、マイコンボードでの実習を通して、Linuxの基本的なプログラミング技術とアプリケーション開発の方法を習得する。福岡県内の半導体産業振興のための

人材育成と産業集積を目的に設立された同カレッジ

世界的な拡大が続く半導体市場の中で、東アジアの設計開発拠点を指してきた結果、福岡県内には活動開始時(2001年)の約2.5倍の半導体関連事業所が集積。同カレッジが果たしてきた役割と産業振興効果は非常に大きく、日本の半導体業界の競争力向上に大きく寄与している。

講座体系

システム構築技術講座
システム設計 品質・信頼性向上
ソフトウェア開発手法 熱設計など
生産性向上
ものづくり論など

システム要素技術講座
画像・センシング 通信
画像処理技術など ネットワーク技術など
情報処理 電力・駆動制御
AI-ディープラーニングなど 電力制御、モータ制御など

基盤技術講座
ハードウェア ソフトウェア
電子回路、集積回路 組込プログラミング、組込マイコン

ハードウェアやソフトウェアの基礎から、情報処理、画像・センシングなど幅広く盛り込んでいる

講座用のテキストと実習用機材



講座専用開発したテキスト(一部)



多様な実習用機材(一部)

FPGA(ALTERA)ボード CAN/LIN実習ボード
マイコン制御実習ボード はんた実習基板

審査員の視点

技術者を養成する新しい教育システム
従来の日本企業は企業内に学校を設けて新人や中堅技術者を育ててきたが、最近では業界全体での教育がクローズアップされてきている。

受け、福岡県産業・科学技術振興財団は2001年、半導体の設計技術者育成を目的に「福岡システムLSIカレッジ」を設立。さらに、急激に進むデジタル技術者不足に対応するため、2016年には「システム開発技術カレッジ」と改名し、ハードウェアとソフトウェアを両軸にした技術教育を実施している。

会社概要

団体名:公益財団法人
福岡県産業・科学技術振興財団
設立:1989年11月1日(1996年7月1日改組)
2014年4月1日 財団法人から公益財団法人へ移行
従業員数:70名
事業内容:産学官の共同研究による創造的研究開発支援事業/科学技術に関する研究交流事業/国際的科学技術交流推進事業/創造的な事業活動を行う中小企業の育成・支援事業/科学技術に関する人材育成事業/その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

お問い合わせ先

公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
システム開発技術カレッジ
福岡県福岡市早良区百道浜3丁目8-33
TEL: 092-822-1550
FAX: 092-832-7158
校長 福田 晃
http://ist-college.org/